

玉井小だより

平成29年1月17日
大玉村立玉井小学校

TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

今年も『玉っ子 みんなで チャレンジ』

新年 あけましておめでとうございます。1月10日(火)、体育館に全校生が集まって、第3学期の始業式を行いました。

ピアノに合わせて、全員で校歌を歌うと、子供たちの表情がきりっと引き締まりました。どの子も新たな気持ちで「今年もがんばろう。」と思っているのだと思います。やはり「学校はいいな。素敵な場所だな。」と思います。

3年生が「冬休みの反省と3学期のめあて」を発表しました。



【3年生が作文を発表しました】



○ 私は、冬休みにがんばったことが、二つあります。一つ目は、元気に過ごせたことです。毎日、手洗い、うがいをしたので、病気になるずにすみました。

二つ目は、友達と仲良く過ごせたことです。「さくら」で、友達と楽しくバレーボールやドッジボールをすることができました。

3学期のめあては、三つあります。一つ目は、休まず元気に学校に来ることです。3学期は短いですが、がんばらなくてはいけないことがたくさんあるので、休んでいては、大変になるからです。

二つ目は、漢字検定に合格することです。私は、2年生のとき1点足りなくて不合格でした。とてもくやしかったです。それで3年生になってからは、漢字の練習をずっとがんばってきました。残り一ヶ月、さらにがんばって練習します。

三つ目は、なわとび記録会で、よい成績を残すことです。3年生の規定種目の「持久とび3分間と前あやとび25回」に合格したいです。それから前二重とびとハヤブサとびをできるだけ多く飛べるようにしたいです。そのために練習を全力でやります。

3学期は、3年生のまとめをしっかりとやって、安心して4年生に進むために、この三つのめあてを全力でやりきります。(3年 菅原 奏美)



○ 私が冬休みにがんばったことは、「お手伝い」です。お米とぎやちゃわん洗いをしました。毎日やっているので、もうなれておいしく炊くことができるようになりました。これはおねえちゃんがやさしく教えてくれたからだだと思います。冬休みはおねえちゃんたちと仲良くすごせたのでよかったです。

今日から3学期がスタートしました。私は、三つのめあてを立てました。一つ目は勉強です。2学期の学力テストの結果を見たら、「読む力」があまりよくなかったので、がんばろうと思っています。音読や読書をたくさんしようと思っています。2学期までに67冊を読んだので、3学期の終わりには100冊になるように努力します。

二つ目は運動です。なわとびをがんばりたいです。特に、今は1回しかとべない二重とびを練習して、10回以上とべるようにがんばります。

〈裏へ続きます〉

三つ目は生活です。私は、お肉が苦手で、残してしまいます。3学期は少しずつお肉に挑戦して、給食を残さないで食べられるようにしたいと思います。

この三つのめあてに向かって、がんばります。そして立派な4年生になりたいです。
(3年 押山 結奏)

大岡信や谷川俊太郎、安野光雅などがつくった『にほんご』（福音館書店）という本の中に、次のような文章があります。

「もし あなたが とりだったら、そらを とぶのは どんな きもちだろう。

とりに なったつもりで からだを うごかして、

こころの なかで そらを とんでみよう。

さあ、なにが みえる？ どんな おとが きこえる？

ひとは とりのように そらを とぶことは できない。

けれど ひとは おおむかしから そらを とぶことを ゆめみたり、かんがえたり、はなしたり、かいたり してきた。

そうして やがて ひとは ひこうきを はつめいした。」

子供たちのめあてや目標は、なわとびのことであったり、漢字の練習のことであったり、残さないで食べることであったりと、本当に子供らしいものばかりです。でも、意識して何かをやること、思いや願いをもって取り組むことを続けて、人は新しい世界を切り拓いてきました。

今年も子供たちと、新たな一步を踏み出し、今まで見たことのない新しい世界を見たいと思っています。『玉っ子 みんなで チャレンジ』を合い言葉に、子どもたちとがんばっていきます。よろしくお願いします。

子どもたちと学びの時間を共有すること

昨年、12月の最後の週も、1年生の算数の授業に保護者の方が来てくださいました。学期末のまとめの学習で、プリントの問題を進め、定着を図る時間です。丸つけをしてくださる方が何人もいらっしゃるので、子どもたちは、待たずに新しい問題に取りかかることができました。本当に有難いと思います。



【1年生の算数の授業で】

授業の後、校長室でお母さん方の感想を伺いました。
「15をサクランボのやり方で、10と5に分けるのが難しかったみたいだね。」

「サクランボのやり方って、私たちは習わなかったわよね。」

「あれは、わかりやすいよね。」

「学校に来てみて、初めて分かったわね。」

などと、授業の内容や指導の方法等について話題になりました。

先生方と同じ意識で、同じ思いで、子どもたちのことを考えて、話をしているのです。これは、すごいことだと思いました。学校にとって大きな力だと思いました。

ました。

小学校の6年間は、長いようですが、過ぎてしまうとあっという間です。小学校の時代は今だけです。子供たちは日々成長しています。その子供たちが学び、成長する時間と空間を、是非一緒に共有しませんか。

今年も保護者の皆様の学習参加を進めていきたいと考えています。ぜひお越し下さい。